

# 行政報告

市議会3月定例会が2月22日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。



ニプロ株式会社大館工場の内部と製品(左・4枚)



## 県営大館工業団地の拡張とニプロ株式会社大館工場の増設

かねてから県営大館工業団地の拡張を県に要望していましたが、このたび「拡張する」旨の連絡を受けました。

これは、ニプロ株式会社大館工場が増設を計画していることから、県で同社大館工場の南側隣接地を取得し、工業団地を造成しようとするものです。団地の拡張事業は、平成18年度に実施される予定で、総面積約5・5ha、うち工場用地面積は5・1haとなっていて、拡張事業計画に係る実務は、大館市土地開発公社が受託する予定です。

また、同工場の増設計画は、今後3年から5年の間に、人工透析関連製品であるダイアライザーと人工肺及び人工肺用血液回路等を生産する工場群を建設する

ものです。最初の工場棟は19年4月の操業開始を予定していて、総事業費は約213億円、新たに330人の雇用が見込まれています。

## 第3期介護保険事業計画

4月から始まる「第3期大館市介護保険事業計画」を作成しました。作成に当たり、グループホームが地域密着型サービスとなったことや、高齢者の増加とそれに伴う要介護認定者の増加、さらには介護保険法の改正や介護報酬の改定を考慮しながら、平成18年度からの3年間の事業計画案を作成しています。

その結果、保険給付総額は約193億

この増設計画は、大幅な雇用の拡大につながり、地域経済に与える影響も大きいことから、市としましても積極的に協力支援していきたいと考えています。

円となり、保険料基準月額が4、195円となる見込みです。

このため、2月6日から21日まで、市内21会場で説明会を開催し、内容を説明するとともに、市民の皆さんからご意見をいただきました。第3期の計画も第2期同様、保険料率の弾力化を盛り込み、おおむねご理解をいただいたものと考えています。

## 水田農業構造改革対策

水田農業構造改革対策に基づき、需給調整の方法が面積から生産目標に変わってから2年目となりました。本市の生産目標は、比内、田代両地域を含めて2万5、706トンでしたが、ほぼ達成することが出来ました。関係機関の方々のご尽力や農家の皆様のご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。来年度の数量配分は、本年度より228トン減の2万5、418トンが提示されています。

「大館市地域水田農業ビジョン」に基

## 新市総合計画の策定

「新大館市総合計画」は、合併協議で策定した新市建設計画を基本とし、6つの都市像をまちづくりの目標として掲げ、平成18年度から27年度までの10年間に掲げる新大館市の総合的かつ計画的な市政運営の指針を定めたものです。

づく産地づくり対策への取り組みは、最終年度となる18年度に向け、新たに集落営農推進事業に対する助成を盛り込むなど、内容の見直しを図っています。変更点を農家の皆さんにお知らせするため、2月20日から順次、地区座談会を開催しています。また、平成19年度からの「経営所得安定対策」を踏まえ、関係機関や農業団体とともに「大館市集落営農推進協議会」を設立し、集落座談会で、担い手育成の重要性を説明しています。

昨年10月から策定作業を進めてきましたが、先の12月定例会でいただいたご意見、さらには1月の市民懇談会や公募で寄せられたご意見などを基に見直しを行い、基本構想案を取りまとめることが出来ました。